

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31101	無限の可能性開発講座 I Developing Communication & Social Skills I	全教員 (青木・伊藤)	基礎	1	必修	1年 前期
科目の概要						
前向きに学生生活が送れるよう大学生活のあり方、過ごし方、人間関係作りを意識したエクササイズやグループワークを取り入れ学生が主体的に関わる演習形式で実施する。これらの演習を通して、学生一人ひとりの潜在能力の可能性を引き出し、本学が教育の一環として取り組んでいる「社会人基礎力」について理解し、人間性を高める。						
学修内容			到達目標			
① グループワークをするための準備である仲間づくりをする。			①学生間の人間関係の形成、「～ができる」ことを実感することで意識を高める。			
② 社会人基礎力の主体性、発信力、傾聴力、規律性について学ぶ。			②社会人基礎力の主体性、発信力、傾聴力、規律性を日常生活の中に意識的に取り組むことができる。			
③ ディスカッションを中心としたグループワークの仕方学ぶ。			③グループワークに取り組める基礎的な力を修得する。			
④ グループワークを通して、「キャリア」「道徳」「人間性」「社会人基礎力」を高めいく手段を学ぶ。			④大学における学び、社会につながる大学生活の送り方について意識を持つ。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例				
前に踏み出す力	主体性	授業は欠席せずに、積極的に参加した。				
	働きかけ力					
	実行力	グループワークの課題などチームで協力して進め、解決することができる。				
考え抜く力	課題発見力	実態の的確な把握と分析に基づき問題点を洗い出し、目的・目標達成のために提案できる。				
	計画力					
	創造力	授業で学ぶだけでなく、課題を自分なりに工夫して解決した。				
チームで働く力	発信力	話をする時は、思いついたまま話すのではなく、相手が理解しやすいように考えて話した。				
	傾聴力	相手の意見や伝えたいことに対して心から丁寧に耳を傾ける。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	チームで課題を解決する時は、役割分担をして早めの行動を心掛ける。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:社会人基礎力を育む学泉ノート「無限の可能性への道」 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:本科目を通して身に付けた力は、他の基礎科目及び専門科目全般で発揮することにより、さらに力をつけることができる。 資格との関連:なし						
学習上の助言			受講生とのルール			
授業は休まないことを約束してください。グループワークを主にした授業であるので、一人でも欠席すると他のメンバーに迷惑がかかることを常に考えること。			社会人基礎力を育む学泉ノート「無限の可能性への道」を熟読しておくこと。 授業で行った内容を振り返り、自分自身の目標を考えること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	20	①	✓	・授業の最後には、この振り返りを書いてもらいます。グループワークでの自分の行動を振り返り、次に活かしていくにはどうしたらよいか考えてください。 ・課題として出された提出物はきちんと書いてすべて提出すること。
		②		
		③	✓	
		④	✓	
成果発表 (口頭・実技)	30	①	✓	グループワークの結果を、クラスの前で伝える機会をつくります。わかりやすく伝えるために工夫をしてください。
		②		
		③	✓	
		④	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	50	①	✓	(主体性) 物事を一步でも前に進めるために、自発的に探し出し積極的に行動することができる。 (実行力) グループワークの課題などチームで協力して進め、解決することができる。 (課題発見力) 実態の的確な把握と分析に基づき問題点を洗い出し、目的・目標達成のために提案できる。 (創造力) 授業で学ぶだけでなく、課題を自分なりに工夫して解決できたか。 (発信力) 話をする時は、思いついたまま話すのではなく、相手が理解しやすいように考えて話すことができたか。 (傾聴力) 相手の意見や伝えたいことに対して心から丁寧に耳を傾けるお互いの考え方や立場等に相違点があったとしても相手の意見や立場を理解し尊重できたか。 (規律性) チームで課題を解決する時は、役割分担をして早めの行動を心掛けることができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、授業でおこなうワークに積極的に取り組むことができる。 ・毎回の授業で学んだ社会人基礎力などを日常生活の中に取り入れ、自らの社会人基礎力を伸ばそうと取り組んでいる姿がわかる。 ・レポート、発表ではわかりやすく、人に伝えようと工夫を凝らしている。 ・これらのことが特に優れている場合は K(秀) 評価とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークに真面目に取り組むことができる。 ・授業で学んだ社会人基礎力などを、日常生活に取り入れようとしている。 ・レポートは期日を守り提出できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	「本学の教育方針(3本柱)の建学の精神、社会人基礎力、3つの挑戦を学ぶ」 ※今後の授業の進め方を説明する。	講義(推進委員)	この授業を通してどのような力を身に付けることができるか理解できる。	(復習)授業の振り返りを行う	45	傾聴力 主体性
2週 /	「クラス内における人間関係形成、授業のエクササイズを通しての仲間づくり①」 ※自己効力感の形成 緊張をほぐし、和やかな雰囲気づくり。 ※ワークは全員やペアを組んで実施する	講義・ワーク (青木 葵先生)	・積極的に授業に参加することができる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	(復習)日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する	45	実行力 傾聴力 状況把握力 規律性 主体性
3週 /	「クラス内における人間関係形成、エクササイズを通しての仲間づくり②」 ※意見・価値観について違いがあることを知り、その中で意見を交わすワーク練習を行う。 ※ワークは全員やペアを組んで実施する。	講義・ワーク (青木 葵先生)	・クラスの仲間と楽しくエクササイズやワークを行うことができる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	(復習)日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する	45	実行力 傾聴力 状況把握力 規律性 主体性
4週 /	「みんなが楽しめるレクレーション①」 ※ゲームを考え企画する。	講義・ワーク (教員)	・みんなが楽しめるレクレーションゲームを考え企画することができる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	(復習)日常生活で、学んだ社会人基礎力を実践する	45	主体性 規律性 傾聴力 創造力
5週 /	「みんなが楽しめるレクレーション②」 ※ゲームを考えチームごとに発表する。	講義・ワーク (教員)	・みんなが楽しめるレクレーションゲームを考え企画することができる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	(復習)講義・ワークを通して学んだ社会人基礎力について振り返る	45	主体性 規律性 傾聴力 創造力
6週 / 7週 /	「みんなが楽しめるレクレーション③」 ※3クラス合同(親睦を深める) ・仲間づくり ・レクレーションゲームを行う ◎体育館 1限:レクレーションゲームⅠ 2限:レクレーションゲームⅡ	講義・ワーク (教員)	・みんなが楽しめるレクレーションゲームを考え楽しむことができる。 ・学生間の親睦を深めることができる ・ゲームの説明では大きな声でわかりやすく説明できる。 ・ゲームでは私語をしないで積極的に協力できる。	(復習)日常生活で、学んだ社会人基礎力を実践する (復習)この授業で理解したことや感想など書いて期日までに提出すること創造力	90	主体性 規律性 傾聴力 創造力
8週 /	社会人基礎力について学ぶ① ※ワークはグループやペアを組んで実施する。	講義・ワーク (育成室伊藤氏)	・『社会人基礎力』について説明を聞き理解することができる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	(復習)日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する	45	主体性 規律性 傾聴力 課題発見力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	社会人基礎力「主体性」について学ぶ②	講義・ワーク (育成室伊藤氏)	・講義とワークを通して『主体性』について説明を聞き理解することができる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	(復習) 日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する	45	主体性 規律性 傾聴力 課題発見力 発信力
10週 /	社会人基礎力「発信力」について学ぶ③ ※ワークはグループやペアを組んで実施する。	講義・ワーク (育成室伊藤氏)	・講義とワークを通して『発信力』について説明を聞き理解することができる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	(復習) 日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する	45	主体性 規律性 課題発見力 傾聴力
11週 /	社会人基礎力「傾聴力」について学ぶ④ ※ワークはグループやペアを組んで実施する。	講義・ワーク (育成室伊藤氏)	・レクリエーションゲームを通して『傾聴力』について説明を聞き理解することができる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	(復習) 日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する	45	主体性 規律性 傾聴力 課題発見力 発信力
12週 /	社会人基礎力「規律性」について学ぶ⑤ ※ワークはグループやペアを組んで実施する。	講義・ワーク (育成室伊藤氏)	・講義とワークを通して『規律性』について説明を聞き理解することができる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる ・無駄話をしない。	(復習) 日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する	45	主体性 規律性 傾聴力 発信力 計画力 課題発見力 状況把握力
13週 /	「共通テーマによるグループワーク①」 「学生生活を充実させるために必要なこと」 カードでグループ핑しB紙に表示してまとめる。	講義・ワーク (全教員)	・グループディスカッションによる意見交換ができる。 ・学生生活を充実させるために必要なことについて自分で考えをまとめることができる。	(復習) 日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する	45	主体性 規律性 傾聴力 課題発見力 発信力
14週 /	「共通テーマによるグループワーク②」 ・発表原稿の作成や発表準備を行う。	講義・ワーク (全教員)	・学生生活を充実させるために必要なことについて自分で考えをまとめることができる。 ・発表原稿の作成や発表準備ができる。 ・次の発表にむけて発表原稿が作成できる。	(復習) ・日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する。 ・発表原稿の作成や発表準備ができてないグループは次の授業までに仕上げてる。	45	主体性 規律性 傾聴力 課題発見力 発信力
15週 /	「共通テーマによるグループワーク③」 ・全体発表を行う。 ・無限の可能性開発講座Iのまとめを行う。	ワーク・発表 (全教員)	・グループの仲間と協力して発表ができる ・無限の可能性開発講座Iを終えて学んだことを理解することができる ・夏季休暇及び後期の目標設定ができる ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる	(復習) 日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する。	45	主体性 規律性 傾聴力 課題発見力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力